まえがき　3

第一章　そもそも霞が関埋蔵金とは何か　13

埋蔵金の定義／名付け親は自民党「財政再建派」／特別会計予算は一般会計の4倍／主計官はほとんどノーチェック／「離れですき焼き」の一覧表／大蔵省が増やしたくなくても……／日本の特別会計は主要国で最大／4年で38兆円を発掘

第二章　霞が関埋蔵金論争の経緯　36

存在は証明されたが……／特別会計からの財源確保を訴えた民主党／埋蔵金をあっさり認めた財務省／景気対策の財源として再浮上／与謝野馨氏の苦しい国会答弁

第三章　大規模発掘現場その一、財政投融資特別会計　49

一般会計に使われる金利変動準備金／財政投融資とは／2001年度に抜本改

革／コロコロ変わる「必要水準」／法律改正で一般会計に繰り入れられる／「便利使い」される金利変動準備金／それでも変わらない「必要水準」

第四章 大規模発掘現場その二、外国為替資金特別会計 64
金利収入が毎年数兆円／赤字になったのはわずか2回／そもそも外為特会に積立金は必要なのか？

第五章 改革と骨抜きの歴史は繰り返す 76
政府見解は「改革はもう終わった」／本格的な見直し開始は2003年／05年12月の合理化計画案／統合しても中身そのまま／民主党も対案／会計検査院も埋蔵金を認定／中途半端に終わった改革

第六章 ストックの問題 積立金205兆円は多すぎる？ 94
18年で120兆円以上増加／特別会計の積立金残高一覧／205兆円は多いのか少ないのか／地震再保険とエネルギー対策の「適正規模」／国債整理基金特

会／「ため込みすぎ」の労働保険特会／ずさんな年金特会／ソルベンシーマージン比率／「特別会計の資産は自分で計算して下さい」

第七章　フローの問題　毎年いくらもうかっているのか　131

毎年の剰余金は30～50兆円／特別会計ごとの剰余金／歳入繰り入れの内訳／財務省がこっそり公表していた「純剰余金」／一般会計でも純剰余金が発生／一般会計への繰り入れに消極的な霞が関／まともに公表されてこなかった特会の決算／省庁ごとに対応がバラバラ／剰余金は、決算では予算より15兆円も多い

第八章　結局、埋蔵金はいくらあるの？　167

ストックで見るか、フローで見るか／毎年10兆円は余っている？／２００兆円超のうち、どれくらい取り崩せるか／特会に私たちが払っているお金

あとがき　185